

## 追加意見

### 【眞鍋 和博 座長】

●資料8-1、8-2に書かれている施策が、全方向に広がっていて、数自体も多いように思います。統合できるものもいくつかありそうです。

KPIをミッションごとに行うというのはたいへん良いことだと思いますが、施策自体もスリムにできたら良いと感じます。

### 【泉 香苗 構成員】

#### ●目標1-①

「(教職員の)講習会等の体系化という項目に、探求学習の実践手法を学ぶ視点を強化するのであれば、高大接続の活用を」と思いましたが、いかがでしょうか。私の所属する九州工業大学(以下、九工大)では、中高教員対象とした実践型の研修会を実施していますので、「教職員の質向上」だけでなく、「地域との繋がり」「教職員の負担軽減」の目線からも良いかもしれません。

#### ●目標3-④

「グローバル教養教育」の項目に対して、大学教育からの逆算目線でご提案です。「多様な文化の受容」という視点が明記されると有難いですが、いかがでしょうか。

九工大では、グローバルに活躍する技術者育成に必要な5つのコンピテンシーがあり、そのうち、「コミュニケーション力、自律的学習力、探求する力」の3点は既に盛り込まれていますので、「SDGsの理解促進」のところに加えてはと思いました。

「SDGsの理解」に含まれた意味合いのため、あらためて明示が不要でしたら、ご放念ください。

#### ●目標5-①

「本市の特色を活かした教育活動の推進(環境教育やSDGsの理解促進~)」について、感想とお願いです。今後、問い立て力(デザイン思考)の重要性が一層増すことが想定され、第1回眞鍋座長のご発言(経験学習と言語化)が大事と思いました。

つきましては、公害克服等の環境学習を「ファクトベース思考で歴史に学ぶ教育」として引き続き、継承くださいますようお願い申し上げます。

## 【上田 哲則 構成員】

### ●学校に自由自立の活動を促し、特色を持たせるには。

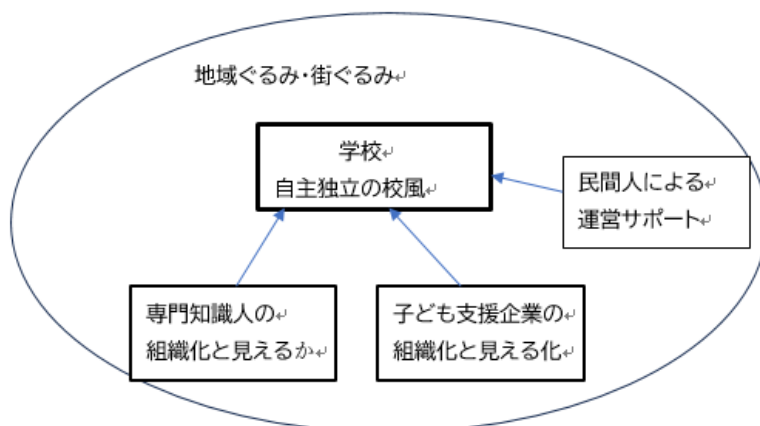
- ・校長の存在が重要なポイントとなると思います。  
在任期間を3年から大幅に延長して、校長の目指す学風を創る。  
企業では、オーナー会社以外でもトップ思想を推進する為に在任期間が5年、場合によれば、10年の会社もあります。
- ・校長を呼ぶ人、民間人から登用する。
- ・自主独立した校風のイメージ
- ・地域社会と連携して活動(祭り・伝統芸能・福祉活動など)を長期に取り組む。
- ・環境問題を地域企業のパートナーとともに取り組む。
- ・国語力向上として事業開始前15分を素読に充てている小学校もある様です。

### ●教職免許はないが、実力を蓄えた人たちの組織化と活用。

- ・時代の変革の中で、教育現場に携わる教師の存在がますます重要です。  
しかし、世の中の変化のスピードが速く、教師がその知識を習得し続けるのは難しいのではと感じます。
- ・時間の余裕あるヒトを対象として、専門分野での教育者を登用することが効率的と考えます。  
⇒英語学習は一对一の対話形式による実力アップが評価されています。英語を話せる人は多くいます。その人達を登録・組織化して派遣ということも考えられます。  
⇒IT等先端技術は、専門的な知識が必要です。その人達を登録・組織化して派遣してはいかがでしょうか。

### ●企業による子供支援の組織化

- ・現在でも子供教育のために活動している企業が多々あります。個別では限界があります。
- ・地元にある企業で子供教育に参画している会社・支援したいと思う会社を組織化して企業の支援が見える化、組織として目標を掲げて各学校と話し合いながら活動する。



※地域ぐるみ・街ぐるみで子供を育てる街、北九州。